



鳥獣被害対策における地域ぐるみの対策（集落環境診断）を実践できる人材の育成を目的として、集落環境診断指導者養成編 第1回を開催しました。研修では、笠間市片庭地区を実習場所として、イノシシの痕跡や侵入経路の把握、防護柵の設置状況を確認しながら、現地点検を実施しました。その後、ワークショップを通じて、現地で確認した状況を地図化し、鳥獣被害対策の課題や対策について活発に意見交換が行われ、有意義な研修となりました。

講座名 野生鳥獣による農作物被害対策研修 集落環境診断指導者養成編  
第1回「 集落環境診断手法の紹介 」

日 時 令和4年10月3日（月） 午前9時から午後4時10分まで

場 所 笠間市消防本部3階多目的ホール及び笠間市片庭地区

出席者 25名

### 受講生の声（抜粋）

- ・現場に生産者といき、現状を把握することの重要性を感じた。
- ・実際に現場を見て歩くことで手法を学ぶことができた。現場での診断に活用したい。

### 講師のコメント

今回の研修では、皆さんのレベルが高く、すごく良いアイデアが出ていた。今回の研修を通して考えたアイデアを集落に持ち帰って、1つでも対策として実施してほしい。